

2017JR総連春闘を勝利しよう！シリーズ⑧

2017年度賃金引き上げ夏季手当第5回団体交渉開催 組合員の苦労に満額回答を！

解消されない休日出勤！年休の失効！

要員問題を解決せよ！

団体交渉の申し入れ拒否！組合軽視の姿勢！

要求通り団体交渉を開催し協議せよ！

交検・台検周期延伸が事故を招いた！

周期を戻して安全を確保すること！

本部は3月9日、「2017年度賃金引き上げ、夏季手当および諸要求の申し入れ」（申第21号）に基づく第5回団体交渉を開催しました。

今回の団体交渉は、休日出勤、年休、掲示物、便宜供与、交番、台車検査周期延伸等について議論しました。職場の切実な声を反映した組合の諸要求に対して、会社は組合の要求を聞く耳すら持たぬ姿勢で、「そのような考えはない」を繰り返しました。組合はこのような会社姿勢に対して、誰が苦労して最高益を続けてきていると思うのかと強くその姿勢を改めるよう追求しました。さらに、トヨタは今賃上げで、『経済のために良いメッセージを出したい』と言っている。ということはベアを実施するということである。しかし会社は賃上げ、労働条件を改善する合理的、客観的理由はないという姿勢を貫き、働く者から又さらに搾り取ろうという考えである。それで果たして良いのかとも追求しました。

組合から「会社は収益は堅調だと言っているのだから、組合の要求、すなわち組合員の苦労に応える体力は十分ある。組合員をはじめ現場社員・家族の生活向上のために、組合の要求通りの回答をすること」と最後に強く主張しました。今回で要求に関する交渉が終わり、次回は会社の回答となります。本部は、回答次第では再申し入れも取り組む決意です。最後まであきらめずに奮闘します。

要求獲得に向けて闘い抜こう！